ホルムアルデヒド放散等級 F☆☆☆☆

耐候形１種

SK PREMIUM SILICONE

SK PREMIUM SILICONE

UV PROTECTION

超耐候形水性ハイブリッドシリコン樹脂塗料

エスケープレミアムシリコン

建築仕上塗材のトップメーカーがお薦めするプレミアム塗料

エスケー化研

超耐候形水性ハイブリッドシリコン樹脂塗料

エスケープレミアムシリコン

建物を長持ちさせるには、
塗り替え（メンテナンス）が必要です。

四季の移り変わりや、最近では紫外線の増加、異常気象による温度上昇、集中豪雨など、
塗膜劣化の要因が増加傾向にあります。建物の外壁の劣化進行を抑制し、
より美しく建物を蘇らせ、長持ちさせるためには、高品質な塗料で塗り替えることをお薦めします。

塗膜劣化の要因

●紫外線（UV） ●熱 ●雨 ●湿気 ●結露 ●気温変化など

経年により、外壁はダメージを受けています。

チョーキング

塗膜の剥がれ・割れ

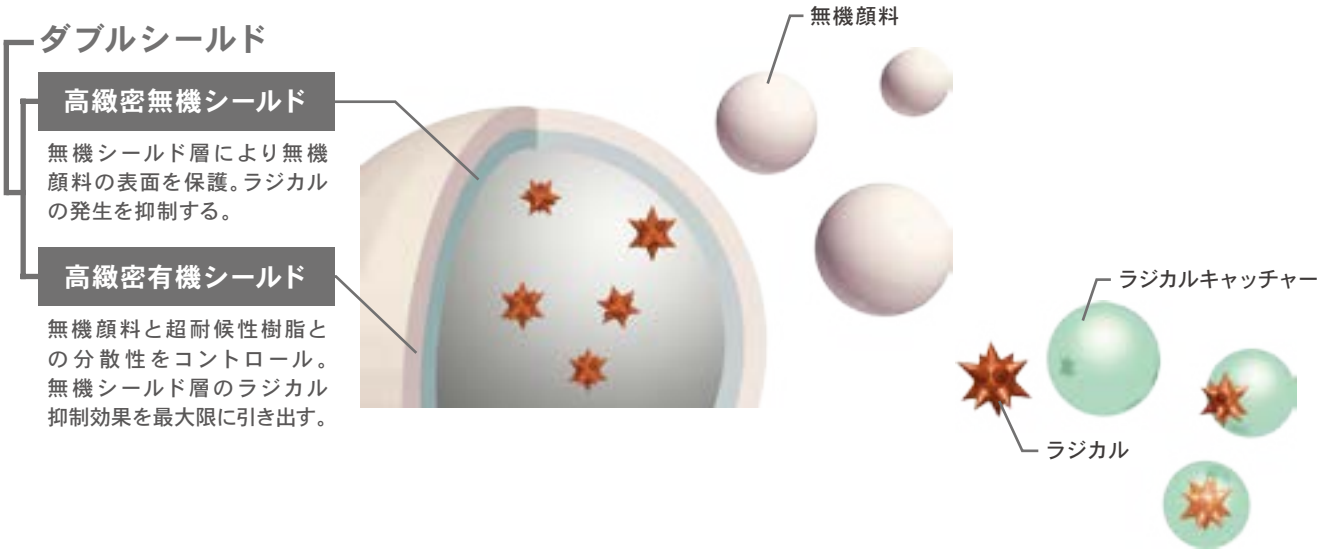
塗膜劣化のメカニズム ― ラジカル（塗膜の劣化因子）

従来の汎用塗料では、紫外線、酸素、水などが、塗膜の中に含まれる無機顔料と接触することで劣化因子であるラジカルが発生し、結合材として使用される樹脂の結合が破壊され、塗膜劣化の原因となります。

ラジカルの発生を極限まで抑える

ラジカルコントロール技術

塗膜内に発生するラジカルを独自の高緻密無機シールド層と高緻密有機シールド層のダブルシールドで抑えます。ラジカルキャッチャーがわずかに発生したラジカルを捕捉し、無害化します。



ラジカルコントロール技術を
動画でチェック

ラジカルコントロール技術のメカニズムを動画でわかりやすくご覧いただけます。

〔超耐候形水性ハイブリッドシリコン樹脂塗料〕をお薦めするプレミアムな理由。

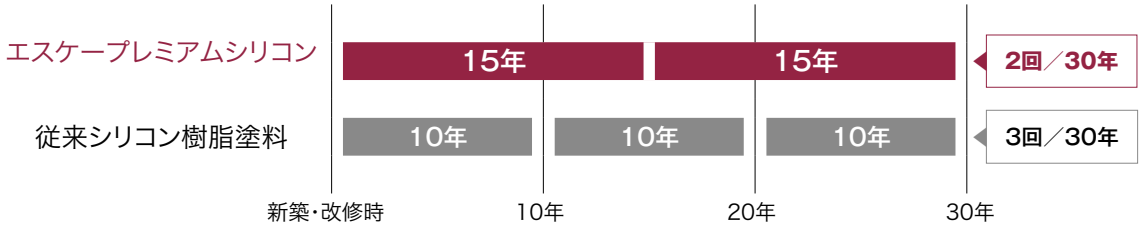
1 PREMIUM

メンテナンスコストがお得です。

ラジカルコントロール技術により**紫外線（UV）**や水等の劣化要因から建物を保護します。
また、塗膜が長持ちするため、**塗り替え回数**の軽減に寄与します。

◎塗り替えサイクルの目安

汚れに強く、塗膜が長持ちするため、従来のシリコン樹脂塗料に比べ塗り替え回数を減らせます。



※塗り替え年数は目安です。建物の立地条件、環境によって異なります。また、塗り替えに関するコスト等は下地の劣化状況によっても異なります。

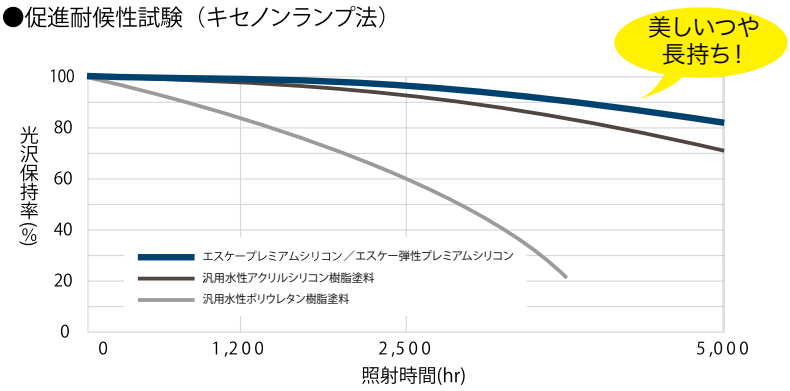
◎促進耐候性グラフ

汎用塗料に比べ優れた
耐候性を示します。

【耐候形1種】

エスケープレミアムシリコン(艶有り)はJIS A 6909建築用仕上塗材の主材との組み合わせにより耐候形1種を取得しております。認証条件(下塗材・主材の組み合わせ)につきましては、最寄りの各営業所へお問い合わせください。また、JIS A 6909複層仕上塗材の上塗りとして用いる場合は、各製品で認証条件が異なりますので、別途ご相談ください。

●促進耐候性試験（キセノンランプ法）

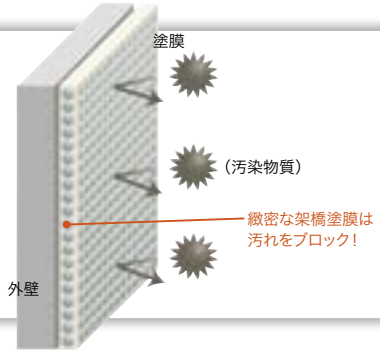


2 PREMIUM

汚れに強い塗料。

◎低汚染・防かび・防藻性

緻密なハイブリッドシリコン樹脂の架橋塗膜は汚れを定着しにくくします。また、特殊設計により、長期に亘ってかびなどの微生物汚染を防ぎます。



3 PREMIUM

抜群の作業性。

隠ぺい性の高い塗膜と塗り易い粘性により作業効率を向上させます。

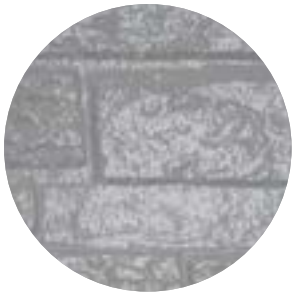
建物の外壁はサイディングやコンクリート、モルタル等様々ですが、その表層は塗料等の仕上材が施されています。しかし、これらの塗膜は紫外線（UV）、熱、水等により経年で劣化が進行します。そのまま放置すると躯体表層への水の含浸や寒熱繰返しにより、躯体や基材まで劣化が進むため、そうなる前に保護することが重要です。※「エスケープレミアムシリコン」は従来の水性シリコン樹脂と比較し耐候性に優れ、塗り易く、作業もはかどり、塗り替えに最適です。光沢のある仕上がりでお住まいを美しく維持します。

※躯体や基材まで劣化が進行する前に塗り替えをお薦めします。

4
PREMIUM

より艶のある仕上がり。

超微粒エマルションからなる滑らかな塗膜は、従来の水性塗料と比べ艶が高く、抜群の仕上がり性を提供します。特に戸建てサイディングの塗り替えでは、下塗りに「水性SDサーフエポプレミアム/マイルドSDサーフエポプレミアム」をご使用いただくと、相乗効果により優れた仕上がりを発揮します。また、艶を抑えた仕上がりには「エスケープレミアムシリコン半艶、3分艶、艶消し」をご使用ください。



汎用塗料
（艶有り）

エスケープレミアムシリコン
（艶有り）

窯業系サイディング、コンクリート、モルタル等
それぞれ下地に合わせてお選びください。

下地選び → 下塗り → 上塗り

下地が窯業系サイディングの場合

下地がコンクリート・モルタルの場合

水性エポキシ樹脂系
サーフェーサー
**水性SD
サーフエポ
プレミアム**

弱溶剤エポキシ樹脂系
サーフェーサー
**マイルドSD
サーフエポ
プレミアム**

光触媒
無　機）コーティングの
サイディングに

広範囲適用型
水性特殊エポキシ樹脂シーラー
**水性
ハイブリッド
シーラー**

水性特殊合成樹脂エマルション系
弾性サーフェーサー
**エスケー
弾性プレミアム
フィラー**

超耐候形水性ハイブリッドシリコン樹脂塗料
**エスケー
プレミアムシリコン**

水性/弱溶剤エポキシ樹脂系サーフェーサー

水性/マイルドSDサーフエポプレミアム

ホルムアルデヒド放散等級 F☆☆☆☆

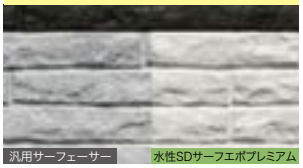
窯業系サイディングの塗り替えに

特長

1.優れた仕上がり性
2.幅広い付着適用性
3.塗装作業性
4.防かび・防藻性

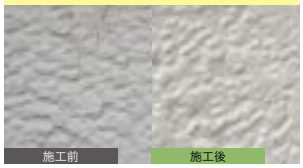
高い隠蔽性

かぶりがいい！



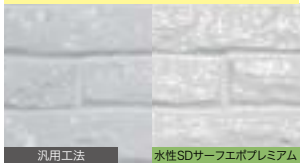
優れた下地調整機能

微細なひび割れを調整！



美しい仕上がり

仕上がりがなめらか！



塗膜表面のヘアクラックなどが埋まり、滑らかな仕上がりを、また上塗りの滑らかさを際立たせ、光沢のある美しい仕上げを提供します。

水性特殊合成樹脂エマルション系弾性サーフェーサー

エスケー弾性プレミアムフィラー

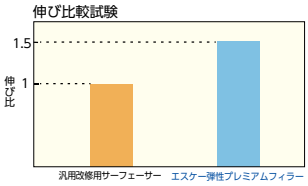
ホルムアルデヒド放散等級 F☆☆☆☆

コンクリート・セメント・モルタル・ALC等の既存塗膜がある場合の塗り替えに

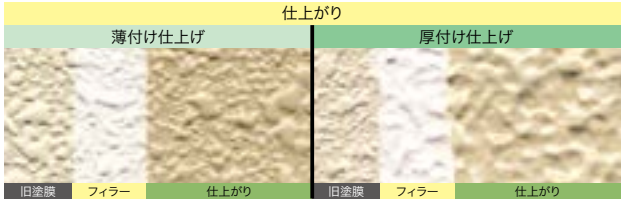
特長

1.幅広い付着適用性
2.工期短縮
3.豊富な仕上げ
4.塗装作業性（軽くて伸び易い・低スパッタ）
5.ひび割れ追従性

伸び比較試験



仕上がり



広範囲適用型水性特殊エポキシ樹脂シーラー

水性ハイブリッドシーラー（クリヤー・ホワイト）

ホルムアルデヒド放散等級 F☆☆☆☆

無機系コーティングのサイディング、高耐候性有機塗膜の塗り替えに

特長

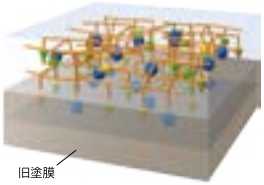
1.幅広い適用性
2.優れた浸透性
3.優れたシール性
4.環境対応

このシーラーでは様々なサイディングの塗り替えが可能となり、幅広く対応できます。

―― 優れた密着性メカニズム ――

3 種類の成分で優れた付着性を実現！

トリプルアンカー効果



●：特殊エポキシ官能基
▼▼：特殊無機成分

■荷姿

エスケープレミアムシリコン(艶有り、半艶、3分艶、艶消し)	15kg石油缶（標準塗坪：43～68㎡）、4kg缶（標準塗坪：11～18㎡）
エスケー弾性プレミアムシリコン(艶有り、半艶、3分艶)	15kg石油缶（標準塗坪：43～68㎡）、4kg缶（標準塗坪：11～18㎡）
水性SDサーフエポプレミアム	15kg石油缶（標準塗坪：38～83㎡）
★マイルドSDサーフエポプレミアム	15kg石油缶（標準塗坪：38～83㎡）
エスケー弾性プレミアムフィラー	15kg石油缶（標準塗坪：15～75㎡）
☆水性ハイブリッドシーラー（クリヤー・ホワイト）	15kgセット（標準塗坪：75～187㎡／セット）
★塗料用シンナーA	16ℓ石油缶

※上記の標準塗坪は一般的なものであり、下地の状態や環境などによる所要量の増減に応じて変わることがあります。ご了承ください。

■用途

戸建て住宅、マンションの内外装、
店舗・事務所・工場・倉庫などの内外装、
学校など公共施設の内外装

注1 塗装時に光沢の残っている劣化していない塗膜に塗装する場合は、目荒しを行ってください。

【危険情報と安全対策】

製品の取り扱いはそれぞれの安全データシート（SDS）に従ってください。特に、★印のついている製品は溶剤形のため、下記の点にご注意ください。（☆印は硬化剤のみ★に該当）

1.引火性の液体のため、火気厳禁です。
2.有機溶剤中毒のおそれがあるため、換気に注意し、防毒マスクまたは、送気マスクを使用するなどの安全対策を行ってください。
3.施工においては、溶剤成分が室内に流入しないように十分注意してください。

※屋内作業等、使用環境によっては、特定化学物質障害予防規則、有機溶剤中毒予防規則等の規制を受ける場合があります。詳しくは別途、施工仕様書等をご確認ください。

【施工後の注意】

本製品には揮発性の化学物質が含まれております。塗装直後の引渡し等において、化学物質過敏症やアレルギー体質の方への安全対策に十分留意してください。

■標準施工仕様

●改修（下地：モルタル、コンクリート　既存塗膜：吹付タイル、リシンなど）

(23℃)

工　程		材　料	調　合 (重量比)	所要量 (kg/m²)	塗回数	間隔時間(hr) 工程内	工程間	最終養生	備　考
下地調整		●旧塗膜に脆弱層がある場合は、サンダー及び皮スキ、ケレン棒などを用いて除去し、ミラクファンドKC-1000などで段差修正後、パターンの復元を行ってください。なおセメント系下地調整塗材(ミラクファンドKC-1000、ミラクファンドKC-2000、ミラクファンドKC-3000など)を用いる場合は、下地調整後、水性ミラクシーラーエコなどの下塗材を塗付してください。 ●高圧洗浄(5～15MPa)にて旧塗膜に付着している塵、ほこり、汚れなどを除去してください。							―
1	下塗り ※1.2 (薄付け仕上げ)	エスケー弾性プレミアムフィラー	100	0.20～0.5	1	―	3以上 ※4	―	ウールローラー 刷毛
		清　水	5～8	―					
1'	下塗り ※1.2 (厚付け仕上げ)	エスケー弾性プレミアムフィラー	100	0.5～1.0	1	―	4以上 ※4	―	M-9ローラー(マスチックローラー) リシンガン 口径:4～5mm 圧力:392～588KPa (4～6kgf/cm²)
		清　水	2～8 ※3	―					
2	上塗り	エスケー(弾性)プレミアムシリコン	100	0.22～0.35*	2	2以上	―	24以上	ウールローラー、刷毛 エアレススプレーガン 吐出量:800～1000㎖/分 パターン幅:25～30cm
		清　水	0～8 ※12	―					

＊凹凸が小さく吸い込みが少ない下地の塗り替えの場合は所要量が少なく、吹付けタイル下地等凹凸の大きく吸い込みが多い下地の塗り替えの場合には所要量が多くなります。
　また、規定所要量を厳守してください。
注）エスケー弾性プレミアムフィラーの上塗材として、エスケープレミアムシリコン艶消しもご使用いただけます。

●改修（下地：窯業系サイディング）

(23℃)

工　程		材　料	調　合 (重量比)	所要量 (kg/m²)	塗回数	間隔時間(hr) 工程内	工程間	最終養生	備　考
下地調整		●劣化した塗膜は除去してください。 ●高圧水洗(5～15MPa)にて旧塗膜に付着している塵、ほこり、汚れなどを水洗にて除去してください。 ●劣化した目地材は除去した後、シーリング材による打ち替えを行ってください。							―
1	下塗り ※5.6 注1 (水性仕様)	水性SDサーフエポプレミアム*	100	0.18～0.40	1	―	3以上	―	ウールローラー、刷毛 エアレススプレーガン 吐出量:800～1000㎖/分 パターン幅:25～30cm
		清　水	5～10 ※7	―					
1'	下塗り ※5.6 注1 (弱溶剤仕様)	マイルドSDサーフエポプレミアム*	100	0.18～0.40	1	―	3以上 7日以内	―	ウールローラー、刷毛 エアレススプレーガン 吐出量:800～1000㎖/分 パターン幅:25～30cm
		塗料用シンナーA	0～20 ※8	―					
2	上塗り	エスケー(弾性)プレミアムシリコン	100	0.22～0.35*	2	2以上	―	24以上	ウールローラー、刷毛 エアレススプレーガン 吐出量:800～1000㎖/分 パターン幅:25～30cm
		清　水	0～8 ※12	―					

＊モルタル、コンクリート下地の改修用としてもご使用いただけます。詳しくは別途お問い合わせください。
＊サイディング等凹凸が小さく吸い込みが少ない下地の塗り替えの場合は所要量が少なく、吹付けタイル下地等凹凸の大きく吸い込みが多い下地の塗り替えの場合には所要量が多くなります。
　また、規定所要量を厳守してください。
注1.光触媒や親水性タイプの表面コーティング、無機系コーティング材またはふっ素樹脂クリヤーが塗装されているサイディングには適用できません。

●改修（下地：サイディング(光触媒コーティング、無機系コーティング等を含む)）/ 新築（下地：押出成形セメント板、GRC板など）

(23℃)

工　程		材　料	調　合 (重量比)	所要量 (kg/m²)	塗回数	間隔時間(hr) 工程内	工程間	最終養生	備　考
下地調整		●旧塗膜に脆弱部がある場合は、サンダー及び皮スキ、ケレン棒などを用いて除去し、ミラクファンドKC-1000などで段差修正後、パターンの復元を行ってください。 ●高圧水洗(5～15MPa)にて旧塗膜に付着している塵、ほこり、汚れなどを除去してください。							―
1	※9.10.11 注2 下塗り	水性ハイブリッドシーラー(クリヤー・ホワイト)　主剤*	100	0.08～0.12	1	―	6以上 7日以内	―	ローラー、刷毛 エアレススプレーガン 吐出量:600～1000㎖/分 パターン幅:25～30cm
		水性ハイブリッドシーラー　硬化剤*	7.14						
2	上塗り	エスケー(弾性)プレミアムシリコン	100	0.22～0.35*	2	2以上	―	24以上	ウールローラー、刷毛 エアレススプレーガン 吐出量:800～1000㎖/分 パターン幅:25～30cm
		清　水	0～8 ※12	―					

＊モルタル、コンクリート下地の改修用としてもご使用いただけます。詳しくは別途お問い合わせください。またこの他に下塗材として、★エスケーハイブリッドシーラーEPO(15kgセット)もご使用いただけます。
＊サイディング等凹凸が小さく吸い込みが少ない下地の塗り替えの場合は所要量が少なく、吹付けタイル下地等凹凸の大きく吸い込みが多い下地の塗り替えの場合には所要量が多くなります。
　また、規定所要量を厳守してください。
注2.無機系コーティングなどが施されたサイディングボード面の中には適用できないものもあります。予め試験施工を実施し付着性を確認してください。付着性に問題がある場合は、目荒しを行ってください。

※1.　この他、水性ソフトサーフSG(16kg石油缶)、水性ソフトサーフエポ(16kg石油缶)もご使用いただけます。また、弾性仕様の改修にはエスケー弾性プレミアムフィラーや、水性弾性サーフエポ(16kg石油缶)をご使用ください。ただし旧塗膜が高弾性の場合や、水性弾性サーフエポの防水形仕上げ仕様には、上塗材にエスケー弾性プレミアムシリコンをご使用ください。

※2.　エスケー弾性プレミアムフィラーの所要量、希釈率は塗装器具により異なります。なお既存パターンや下地の状態により所要量が異なる場合がありますのでご注意ください。

※3.　エスケー弾性プレミアムフィラーの厚付け仕上げの場合の清水での希釈率は、マスチックローラー塗り時で「2～5」、リシンガン塗り時で「5～8」となります。

※4.　マスチックローラーまたはリシンガンで塗装する場合、工程間間隔時間が4時間以上となります。

※5.　下地の状態によりシーラーや目荒しが必要な場合があります。詳しくは、最寄りの各営業所へお問い合わせください。

※6.　下塗りには必ず指定の材料をご使用ください。またこの他に下塗材として、水性ミラクシーラーエコ(クリヤー・ホワイト、15kg石油缶)、溶剤タイプの★ミラクシーラーES(15kg石油缶)、弱溶剤タイプの★一液マイルドシーラーES(クリヤー・ホワイト、14kg石油缶)もご使用いただけます。なお、★一液マイルドシーラーESを使用する場合、工程間間隔時間は16時間以上となります。

※7.　水性SDサーフエポプレミアムの清水での希釈率は、スプレー塗り時、刷毛・ローラー塗り時共に「5～10」となります。

※8.　★マイルドSDサーフエポプレミアムの★塗料用シンナーAでの希釈率は、スプレー塗り時で「10～20」、刷毛・ローラー塗り時で「0～10」となります。低温化では塗料粘度が高くなるため、希釈範囲内で、希釈率を上げるようにしてください。

※9.　下地の種類により所要量及び塗回数が異なります。吸い込みの著しい場合は2回塗りとしてください。

※10.希釈しますと付着力低下や性能低下などの原因となりますので希釈は絶対にしないでください。

※11.水性ハイブリッドシーラー（クリヤー・ホワイト）の素地別の所要量の目安は、窯業系サイディングボードで「0.08～0.12」、押出成形セメント板で「0.08～0.12」、コンクリート・セメントモルタルで「0.10～0.20」、けい酸カルシウム板で「0.15～0.20」となります。

※12.清水での希釈率は、スプレー塗り時で「4～8」、刷毛・ローラー塗り時で「0～8」となります。希釈しすぎると、隠ぺい力不足やたれ、透けなどの仕上がり不良、色別れなどの原因となりますので、ご注意ください。

※13.★塗料用シンナーAで希釈する製品については、★塗料用シンナーAの他、★塗料用シンナーXもご使用いただけます。ただし他の材料の使用は避けてください。

注意：エスケープレミアムシリコン艶消しは、サイディング、ALC等の大きな動きが予想されるシーリング打設部への塗装を避けてください。

■標準施工仕様

●新築/複層塗材E仕上げ(硬質)(下地:モルタル、コンクリート)

(23℃)

工程		材料	調合(重量比)	所要量(kg/m²)	塗回数	間隔時間(hr) 工程内	工程間	最終養生	備考
素地調整 ※1		●下地はよく乾燥させ、含水率10%以下、pH10以下としてください。 ●付着物は完全に除去し、傷、不陸、目違いなどは補修調整してください。							―
1	下塗り ※2.3	水性ミラクシーラーエコ(クリヤー・ホワイト)	既調合	0.10~0.13	1	―	2以上	―	ローラー、刷毛 エアレススプレーガン 吐出量:600~1000㎖/分 パターン幅:25~30cm
2	主材塗り	レナラック主材	100	1.3~1.7	1~2	2以上	吹放し16以上 凸部処理0.5以内	―	タイルガン 口径:6.5~10mm 圧力:392~588kPa (4~6kgf/㎠)
		清水	0~5	―					
(3)	凸部処理 ※4	プラスチックローラーに塗料用シンナーAを付けて凸部を押さえる。				―	16以上	―	―
4	上塗り	エスケープレミアムシリコン	100	0.25~0.35	2	2以上	―	24以上	ウールローラー、刷毛 エアレススプレーガン 吐出量:800~1000㎖/分 パターン幅:25~30cm
		清水	0~8 ※5	―					

●新築/防水形複層塗材E仕上げ(弾性)(下地:モルタル、コンクリート) ※下地調整、下塗り工程は上記参照。

(23℃)

工程		材料	調合(重量比)	所要量(kg/m²)	塗回数	間隔時間(hr) 工程内	工程間	最終養生	備考
2	主材塗り(基層塗り)	レナフレンド主材	100	1.5~1.8	1	―	3以上	―	リシンガン 口径:4~6mm 圧力:490~686kPa (5~7kgf/㎠)
		清水	3~5	―					
3	主材塗り(模様塗り)	レナフレンド主材	100	0.7~0.9	1	―	吹放し18以上 凸部処理0.5以内	―	タイルガン 口径:6.5~8mm 圧力:392~588kPa (4~6kgf/㎠)
		清水	0~2	―					
(4)	凸部処理 ※4	プラスチックローラーに塗料用シンナーAを付けて凸部を押さえる。				―	18以上	―	―
5	上塗り	エスケー弾性プレミアムシリコン	100	0.25~0.35	2	2以上	―	24以上	ウールローラー、刷毛 エアレススプレーガン 吐出量:800~1000㎖/分 パターン幅:25~30cm
		清水	0~8 ※5	―					

※1. ALC面、多孔質下地、粗面、その他下地に問題がある場合には、カケンフィラー(粉体20kg袋、混和液10kg石油缶)、ミラクファンドKC-1000(粉体20kg袋、混和液5kgポリ容器)などにて下地調整を行ってください。なお、改装工事にはミラクファンド各種をご使用ください。
※2. 水性ミラクシーラーエコは、他の水性塗料が混ざるとゲル化することがあります。他の材料との混合や、刷毛、ローラー、エアレスなどの塗装器具の共用は避けると共に、同じ洗い水での塗装器具の洗浄は行わないでください。
※3. 希釈しますと付着力低下や性能低下などの原因となりますので希釈は絶対にしないでください。
※4. 灯油など他の材料の使用は絶対に避けてください。
※5. 清水での希釈率は、スプレー塗り時で「4~8」、刷毛・ローラー塗り時で「0~8」となります。

■施工上の注意事項

○ 経年劣化したサイディングボード面への塗装は、表面劣化部分から剥離する場合があります。試験施工を行って付着性を確認の上、本施工に入ってください。
○ 硬質塩ビや塗装時に光沢の残っている劣化していない塗膜に塗装する場合は、目荒しを行ってください。
○ 上塗材の希釈率は、試験施工などにより決定し、それ以降は同一の希釈率にて使用してください。なお、希釈率は色目及び施工時の気温により変化することがありますのでご了承ください。
○ 濃色や原色に近い色彩は、塗膜を強く擦ると色落ちすることがあります。衣類などが触れる可能性のある部位への施工は避けてください。
○ 上塗りにイエロー、レッド、ブルー、グリーン系など彩度の高い色目を塗装する場合は、隠ぺい性を高めるため、予め隠ぺい性の良い共色を塗装してください。
○ 上塗材は所定の乾燥時間(最終養生時間)を厳守してください。施工後、塗膜が乾燥するまでの時間内に降雨などにより、塗膜表面が長時間、水分がかかった状態になりますと、所定の低汚染機能が発揮されない場合があります。低汚染機能は乾燥後の塗膜で発揮されるため、乾燥過程で降雨などが予想される場合は、シート養生を行うなどして、塗膜表面に雨が当たらないよう、所定の乾燥時間を厳守してください。
○ 艶調整品(艶有り以外の半艶、3分艶、艶消しなど)は、被塗物の形状、膜厚や色目、塗回数、希釈率の差などにより、実際の艶と若干異なって見える場合があります。また、刷毛・ローラー塗装時に塗継ぎ箇所で艶むらを生じやすい傾向があります。試験施工で確認の上、本施工に入ってください。
○ 施工当日に降雨、降雪、結露が予想される場合は、施工を中止してください。また、気象の急変などにより、施工中、施工後に降雨が生じた場合はシート養生などを行い、塗装面に直接雨がかからないようにしてください。
○ 施工部位により、低汚染性が十分に発揮されないケースがあります。特に、傾斜壁の下端部、笠木などの水切りのない部位、窓廻りで水切りが不十分な場合、汚れが溜まりやすい目地の下部、雨がかからない部位などは、注意が必要です。
○ 上塗材はむらなく均一に塗付してください。低汚染機能を発揮するためには、塗付量の確保が重要な事項です。特に凹部に塗り残しができないよう、注意してください。
○ 鉄さび・シーリング材などが原因の汚染物質に対しては、低汚染機能が十分に発揮されません。各シーリング材は可塑剤を含まないノンブリードシーリングをご使用ください。
○ 軽量モルタル、ALCパネル、高断熱型窯業系サイディング及び発泡ウレタンなどを用いた高断熱型外壁に塗装する場合は、蓄熱されたり、水の影響や下地の状態、塗装時の環境など、いくつかの条件が重なることで、パネルの変形や塗膜の膨れ、剥がれなどを生じることがあります。ご採用に当たっては、最寄りの各営業所へお問い合わせください。
○ 既存塗膜の剥離箇所は、既存のパターンに合うように既存塗膜の塗装仕様でパターン合わせを行ってください。
○ 防かび・防藻性は繁殖の抑制の効果を示すものです。施工部位の構造や形状、環境条件などにより、防かび・防藻性が十分に発揮されない場合があります。
○ かびや藻が付着している場合は、SKKカビ除去剤#5(塩素系)にて拭き取るなど、適切な下地処理をしてから塗装してください。
○ 補修塗りが必要な場合がありますので、補修用に使用塗料の控えを必ずとっておき、同一ロット、同一塗装方法で補修塗装をしてください。
○ 補修塗りの際、仕上がり肌の違いにより、色目に若干の差を生じる場合がありますので、部分的に仕上がり性を確認した上で希釈量等を決定してください。
○ 刷毛で補修塗りを行う際、スプレー塗りやローラー塗りと仕上がり肌の違いにより、色目に若干の差を生じることがあります。
○ 所要量は被塗物の形状、素地の状態、塗装方法、気象条件、希釈率等の各種条件により増減します。
○ 塗り重ね時間は環境(温度、湿度、換気、風通しやすさ)や膜厚によって変わります。
○ 低温又は高湿度時には、乾燥が遅くなりますのでご注意ください。
○ 改装工事に溶剤形の下塗材をご使用の場合は、溶剤などの影響により、旧塗膜を侵し、膨れ、ちぢみなどの異状が発生することがあります。試験施工で確認の上、本施工に入ってください。
○ シーリング材の上へ施工する場合、シーリング材の種類、材齢により塗膜が密着しないことや汚染することがあります。詳しくは、最寄りの各営業所へお問い合わせください。
○ 間隙が広いなど、大きな動きが予想されるシーリング打設部への塗装は、塗膜がひび割れる可能性がありますので、なるべく避けてください。(艶消しは使用しないでください。)
○ 陶磁器タイル洗浄用の酸が塗装面に付着すると、変色や溶解などの異状を生じることがありますので、これを防止するため、予め塗装面の養生を行ってください。
○ 基材の洗浄に薬剤を用いた場合、薬剤洗浄後の水洗工程を入念に行ってください。薬剤が被塗面に残存したまま塗装すると塗膜の膨れ、剥がれ、白化につながる場合があります。
○ 笠木、天端など長時間水が滞留する箇所では塗膜の膨れ、白化などが発生する場合がありますので使用は避けてください。
○ 塗膜の膨れ、剥がれ、白化の発生につながる場合がありますので、著しく結露が生じるような場所での使用は避けてください。
○ 最終養生の時間内に、降雨、結露がある場合や、低温、高湿度、通風のない場合には、塗膜の膨れ、剥がれ、白化、しみの発生、艶引けにつながることがありますので、塗装を避けるか強制換気などで表面の水分を除去してください。なお、しみが発生した場合は、乾燥後に水拭きなどで除去してください。
○ 強風時、または降雨、降雪のおそれがある場合、及び気温5℃以下、湿度85%以上での施工は原則的に避けてください。気温5℃以下での施工が要求される場合は、採暖及び採暖のための養生により雰囲気温度、被塗面温度を5℃以上にしてください。冬期においては、施工条件が特に厳しくなる場合があるため、事前に関係者と十分な打ち合わせを行ってください。
○ 著しく結露を生じるような場所では、しみが発生することがありますので、塗装を避けてください。やむを得ず塗装を行う場合は、強制換気の上、溶剤形塗料での塗装を推奨いたします。
○ 結露等によりしみが発生した場合は、乾燥後に水拭きなどで除去してください。
○ 材料は使用前に内容物が均一になるように十分に撹拌し、開栓後は速やかに一度に使い切ってください。また材料を保管する場合は、無希釈の材料をしっかりと密栓してから直射日光を避けた冷暗所にて保管し、できるだけ早めに使い切ってください。
○ 性能に支障をきたす可能性がありますので、当社指定以外の材料を混ぜないでください。

エスケー化研株式会社
本　社 大阪府茨木市中穂積3ー5ー25　☎ 072-621-7733
URL https://www.sk-kaken.co.jp
札幌支店 011-784-4000　東京支店 03-3204-6601　埼玉支店 048-686-2391　北陸支店 076-266-1041　京都支店 075-646-3967　神戸支店 078-671-0451　高松支店 087-865-5411
仙台支店 022-259-2431　千葉支店 043-304-0411　横浜支店 045-820-2400　名古屋支店 052-561-7712　大阪支店 072-621-7721　広島支店 082-943-5043　福岡支店 092-629-3427

このパンフレットに記載の商品は、予告なしに仕様や取り扱いを変更することがあります。また、このパンフレットに記載の内容について、無断転載・複製を禁じます。
特記仕様がある場合は、これを最優先にしてください。詳しくは最寄りの各営業所へお問い合わせください。

[製作年月:2026年6月](260630.NL-2)